

陽子線治療における側方散乱軽減法に関する研究

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2010年9月より2019年7月までに当院放射線腫瘍科で脳腫瘍、頭頸部がん、乳がん、肺がん、肝細胞がん、前立腺がんの放射線治療を受けられた方。

2. 研究目的・方法

部位、周辺の組織ごとに、線量集中性を担保するための照射方法を開発することを目的としています。

放射線治療時のすでに得られているCT画像データを用いて今回導入予定の陽子線用の治療計画装置を用いて、脳腫瘍、頭頸部がん、乳がん、肺がん、肝細胞がん、前立腺がんの横方向の放射線の線量分布の解析を行います。

施設院長承認～ 2023年12月

3. データ・情報の利用拒否

データ・情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いるデータ・情報の種類

CT画像データ、年齢、性別、病歴、副作用等の発生状況 等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本 1370 番 1 0467-46-1717

湘南鎌倉総合病院 放射線腫瘍科 部長 徳植公一

(2021年11月17日作成 (第1.1版))